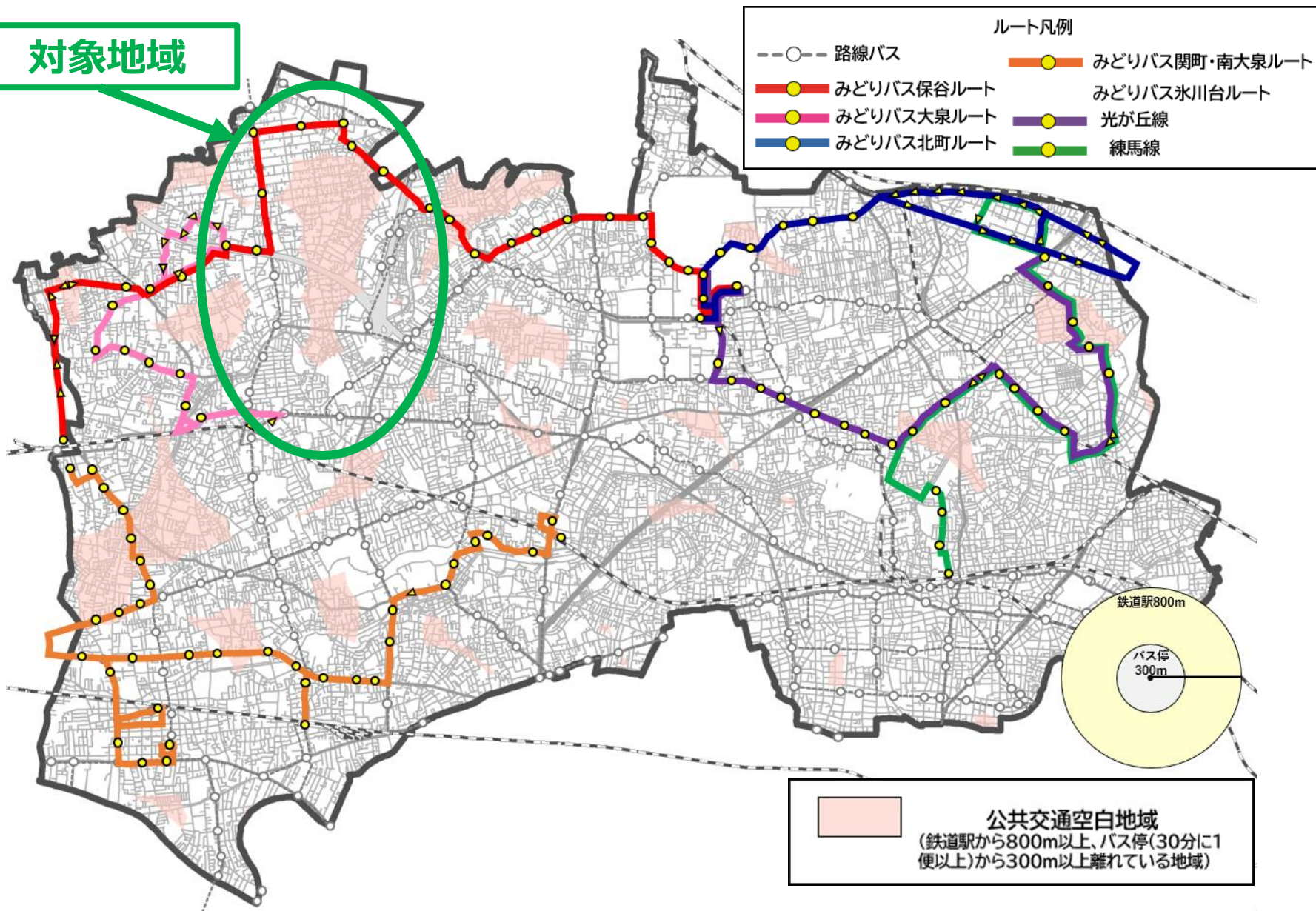


練馬区路線型デマンドタクシー実証実験 (大泉町・大泉学園町地域)

はじめに・・・

対象地域

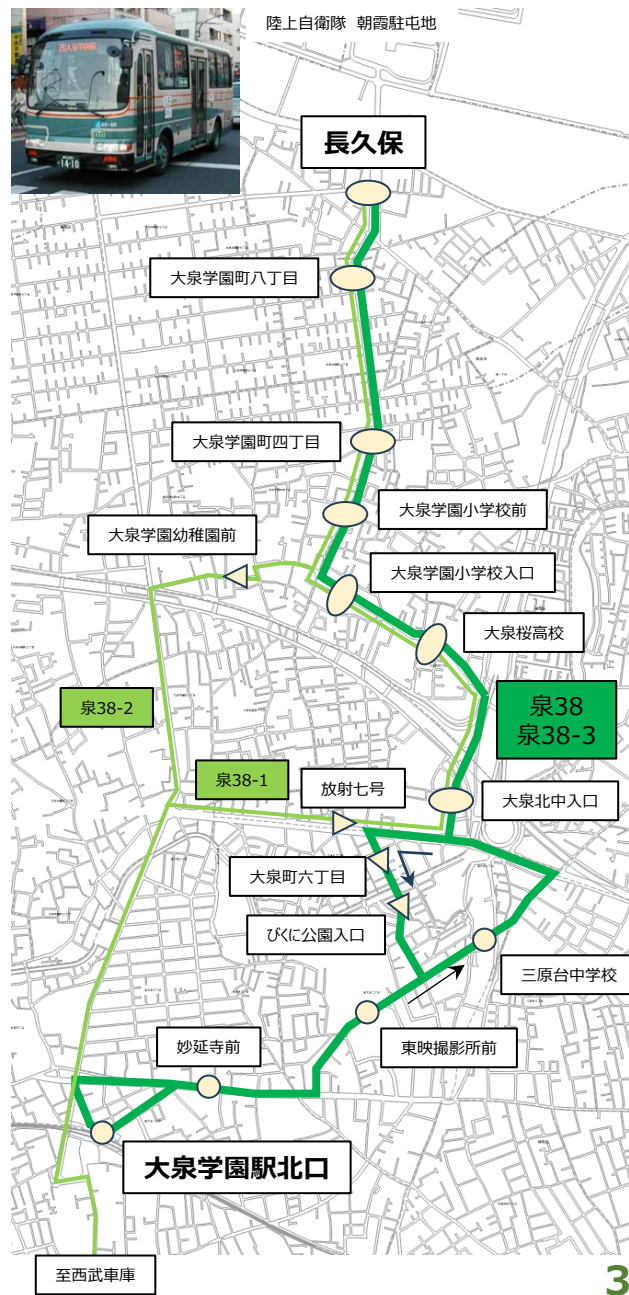


▶これまでの経緯

- 西武バスが運行していた、**路線バス（泉38系統）**は大泉学園駅北口～長久保線までの区間を**小型車両**にて、狭あい路を走行していました。
- 当路線バス（泉38系統）は、**車両の経年化**や**バス運転手不足**などの理由から、**令和7年3月末日に廃止**しました。

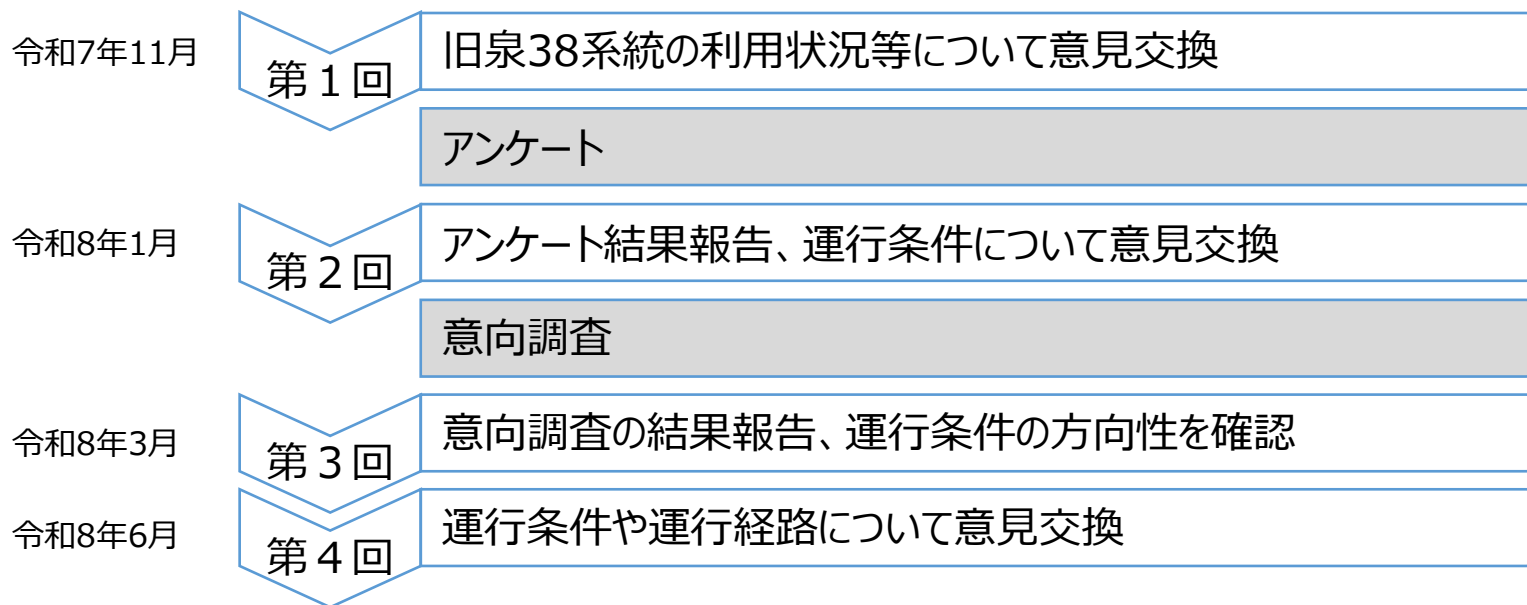
**バス運転手不足は今後も続く見通しであり
みどりバスを含めてバスによる代替は難しい状況**

区は、**バスに代わる交通手段**を皆様と検討するため
話し合いの場を設置しました。



▶これまでの経緯

- 地域との話し合いやアンケート調査等を行い、運行計画や地域が取り組む内容を整理



- 話し合いの場では、**廃止となった路線バスの沿線にある町会・商店会の方々**および**参加を希望された方々**と話し合いを行ってまいりました。

想定される公共交通の例

① 定時定路線型の交通 (ワゴン車)



バスと同様
時刻表の通りに
決まった経路を
運行する交通手段

② 区域型の交通 (タクシー車両)



決められた乗降ポイント間を
利用者の予約に応じて
運行する交通手段

③ 循環型の交通 (グリスロ)

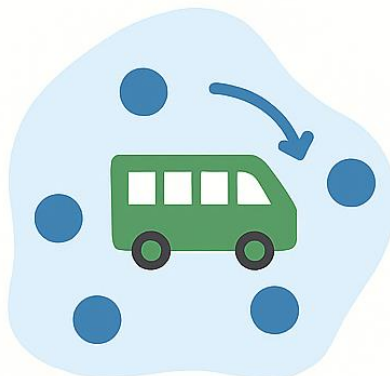


低速な車両が
時刻表の通りに
幹線路以外(※)の経路を
運行する交通手段

※速度が低速かつ車両が軽量であることから、衝突事故の際に重大事故につながるリスクがあるため



決まったルート
時刻で運行



予約に応じて
指定区域内を運行



決まったルート
巡回して運行

アンケートについて

▶ 概要

- ◆ **調査時期**： 令和7年11月
- ◆ **対象者**： 話合いの場 出席者
当該地域にお住まいの方 500名（無作為）
泉38系統の旧停留所に掲示したアンケートへの回答者
- ◆ **調査方法**： 郵送配布・郵送回収（WEB版でも回答可）
- ◆ **回答者数**： 246名

▶ 主な質問内容

Q. 回答者の世代やお住いの地域等について

Q. 廃止になった路線バス（泉38系統）のご利用状況等について

- ☞ どのくらいの頻度乗っていたか
- ☞ どのような目的で乗っていたか など

Q. バスに代わる交通に望むこと等について

- ☞ どのような運行形態が望ましいか
- ☞ 公共交通のあり方について など

大泉町・大泉学園町の公共交通に関するアンケート

日頃より、隣町区政にご理解ご協力をいただいております。
西武バスが運行していた**路線バス（泉38系統（大泉学園駅北口～長久保）**は、車両の経年化や運転手不足などの理由により、令和7年4月1日をもって廃止しました。
現在、隣町区では、大泉町・大泉学園町の公共交通に関して検討を行っております。
この度、路線バスの沿線地域にお住いの皆様を対象に、**普段の外出や公共交通の利用状況等**を調査するため、アンケートを行うことになりました。ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

【回答方法】
※各問を読んで、当てはまる番号を○で囲むか、回答欄に直接ご記入ください。
※ご回答後、**返信用封筒**に入れて、**【11/26（水）まで】**にご返信ください。
※右のQRコードからご回答いただけます。

この調査の実施主体：隣町区 交通企画課（区からの調査業務の委託先：八千代エンジヤサンズ(株)）

Ⅰ. あなたのことについて

問1 年齢
①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60～64歳
⑦65～69歳 ⑧70～74歳 ⑨75～79歳 ⑩80代以上

問2 性別
①男性 ②女性
③回答しない

問3 住んでいる地区
①大泉町3丁目 ②大泉町4丁目 ③大泉学園町4丁目 ④大泉学園町7丁目 ⑤大泉学園町8丁目

問4 運転免許を持っていますか？
①持っている ②持っているが運転しない ③持っているが廃止した ④もともと持っていない

問5 携帯電話を持っていますか？
①持っている ②持っていない

問6 ご自宅から運行されているバス停まで、歩いてどれくらいですか？
①3分以下（約200m以下） ②4～5分（約300m） ③6～8分（約500m）
④10分（約800m） ⑤15分以上（約1km以上） ⑥わからない/知らない

Ⅱ. 廃止となった、西武バス「泉38系統（大泉学園駅～長久保）」について

問7 廃止となった「泉38系統」に、どのくらいの頻度で乗っていましたか？
①週3日以上 ②週1、2日 ③月に数回 ④年に数回 ⑤乗ったことがない

（▼乗ることがあった方にお聞きます）

問7-1 どのような目的で乗っていましたか？（複数回答可）
①通勤 ②通学 ③買い物 ④通院 ⑤趣味・遊び・外食 ⑥その他（ ）

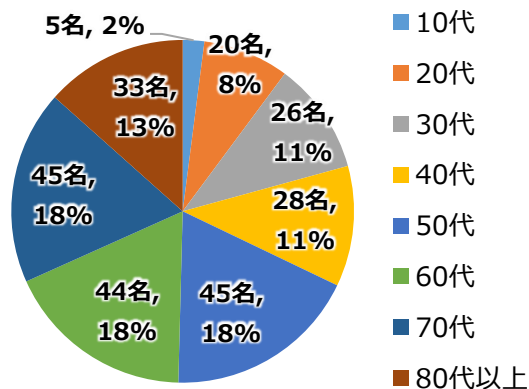
問7-2 利用の時間帯は？（2つまで○をつけてください）
①7時前 ②7～9時 ③9～12時 ④12～15時 ⑤15～17時 ⑥17～19時 ⑦19時以降

1ページ

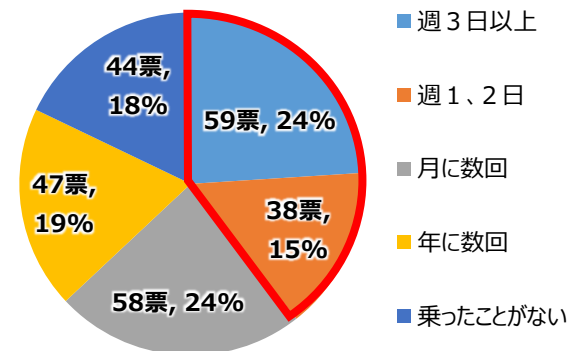
アンケートについて

▶アンケート結果

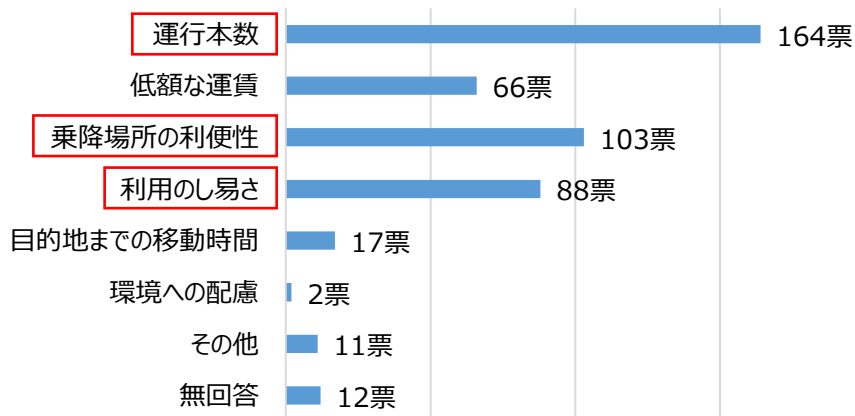
[設問] 世代分布



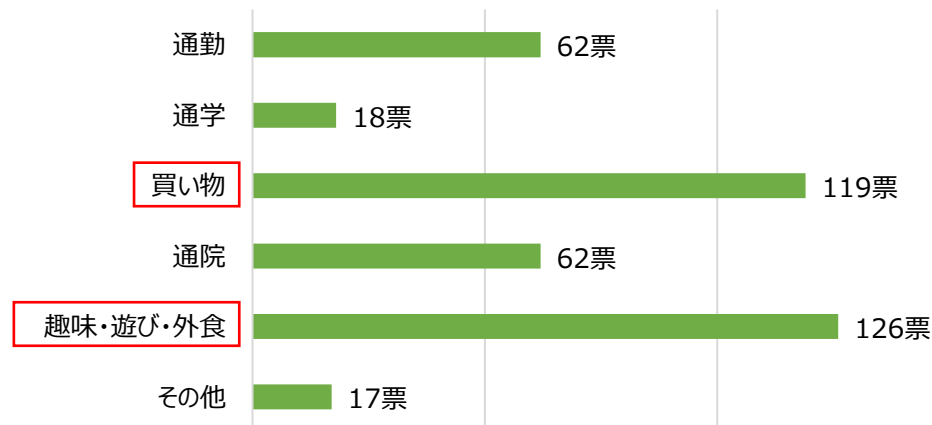
[設問] 「泉38系統」の利用頻度



[設問] 「バスに代わる交通」に望むことは？



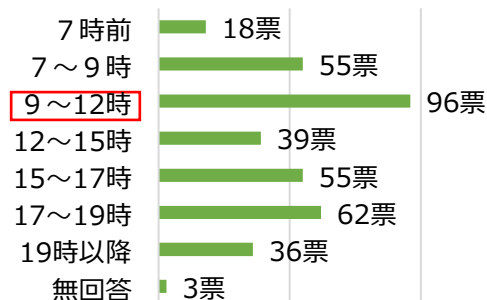
[設問] 「泉38系統」の乗車目的は？



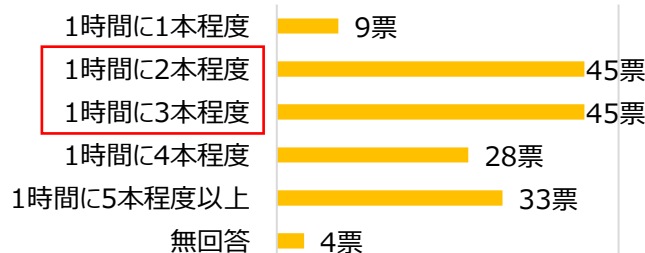
アンケートについて

▶アンケート結果

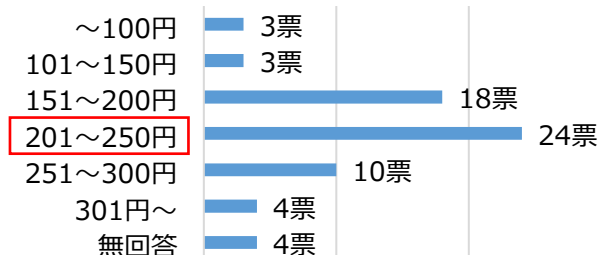
【設問】「泉38系統」の利用の時間帯は？



【設問】「バスに代わる交通」の希望の運行本数は？



【設問】「バスに代わる交通」の希望の運賃は？



【設問】どの運行形態が望ましいか

①定時定路線型（ワゴン車） 	②区域型（タクシー車両） 	③循環型（グリスロ） 
151票	13票	60票

【アンケートの結果】

『毎日の運行、路線バスと同程度の運賃設定等』を求める意見があった

運行の条件について

アンケート結果を基にした運行条件では、区の負担額が大きくなってしまう
持続可能な交通を目指すための条件を調整してきました



	検討内容	例
運行日	いつ運行するか	平日、土日、祝日
運行時間	何時間運行するか	午前〇時～午後〇時 等
ルート	どこを運行するか	大泉学園駅、オズ 等
車両	どのような車両で運行するか	ワゴン車、グリスロ 等
予約	予約制にするか	予約あり、なし 等
台数	何台の車両を運行するか	1台、2台 等
運行本数	どの程度の頻度で運行するか	30分に1便、1時間に1便 等
運賃	運賃はいくらで運行するか	0円、100円、500円、1000円 等

参考までに…

《バス（旧泉38系統）の場合》

- ・毎日運行
- ・7時台～18時台まで運行
- ・リエッセ（35人乗り）
- ・1時間に約1便
- ・長久保～大泉学園駅の運賃は大人**230円**



《タクシーの場合》

- ・毎日運行
- ・終日運行
- ・タクシー車両（4人乗り）
- ・配車も可能
- ・長久保～大泉学園駅の運賃は**約1,500円**



意向調査について

▶概要

- ◆調査時期： 令和8年2月
- ◆対象者： 話合いの場 出席者（町会、商店会、個人）

▶運行条件パターン



【条件】

経路：旧泉38系統の経路

車両：ワゴン車（定員：9人）

予約：有（満車でなければ予約なしも乗車可）

ケース	① 運賃を上げた場合	② 運行日数、台数を減らした場合	③ 運行時間、台数を減らした場合
運行日	毎日	平日、土曜日	平日、土曜日
運行時間	7時～19時（12時間）	7時～19時（12時間）	9時～17時（8時間）
台数	2台	1台	1台
運行本数	40分に1便（1日18便程度）	1時間20分に1便（1日9便程度）	1時間20分に1便（1日6便程度）
運賃	1200円	900円	500円



【条件】

経路：長久保～東映撮影所

車両：グリスロ（定員：5～6人）

予約：有（満車でなければ予約なしも乗車可）

ケース	④ 運賃を上げた場合	⑤ 運行日数、台数を減らした場合	⑥ 地域の方による運行の場合
条件	運転や予約受付をタクシー事業者へ委託		運転や予約受付を地域の方が実施
運行日	毎日	平日、土曜日	毎日
運行時間	9時～17時（8時間）	9時～17時（8時間）	9時～17時（8時間）
台数	2台	1台	2台
運行本数	40分に1便（1日12便程度）	1時間20分に1便（1日6便程度）	40分に1便（1日12便程度）
運賃	800円	200円	無料

意向調査の実施・結果

▶意向調査の結果

- 意向調査を通じて、運行条件について一定の整理をしました。

運行形態	定時定路線型
運行日	平日、土曜日
運行時間	9時～17時（8時間）
ルート	旧泉38系統の経路
車両	ワゴン車（定員：9人）
予約	有（満車でなければ予約なしも乗車可）
台数	1台
運行本数	1時間20分に1便（1日6便程度）
運賃	500円以下



▶主なご意見

- 通勤・通学者は、既に代わりの交通手段を持っているので、**通勤・通学時間帯を除いても**良いのでは。
- 主な利用者は**高齢者層**と思われる。
- 運賃が高額だと、**高齢者等が日常利用ができない**のではないかと。
- **大泉学園駅**まで行けるように、検討してほしい。

運賃の検証

▶ 運賃の設定に向けて

支出

運行経費	費用	備考
貸切料金	約1,380万円	○ 1日の借上げ運賃 $5,820円 + (2,740円 \times 2) \times 7時間$ $= 44,180円$
		※特別区・武三地区 初乗りの1時間5,820円 以降30分2,740円
		○ 年間の借上げ運賃 $312日 \times 44,180円 \times 1台 = 約1,380万円$ ※貸切料金は令和8年3月時点の料金です
コールセンター	約860万円	○ 年間の人件費 $2人 \times 5時間 \times 2,500円 \times 312日$ $= 780万円 \times 1.1 = 約860万円$ ※2人交代、時給は2,500円想定
ネット決済手数料	約10万円	南大泉・東大泉デマンドタクシーの実績を参考
管理費	約200万円	電話回線運用費、停留所設置・維持費雑費 等
小計	約2,450万円	

※経費は事業者等との調整により変動の可能性があります

収入

【前提条件】

- ・ 1便あたり3人が乗車することを想定

支出（約2,450万円）を運賃収入で賄うためには、
運賃を『2,180円』とする必要がある。

（支出（2,450万円）÷年間乗車人数）

※参考

日乗車人数 = $(3人 \times 1台 \times 6便 \times 2) = 36人/日$
年間乗車人数 = $36人/日 \times 312日 = 約1.12万人$

実証実験に向けては、『支出（運行経費）』と『収入（運賃等）』の調整が必要

運賃の検証

▶ 運賃の設定に向けて

A 【運行経費の削減策（案）】

項目	内容	削減効果
運行日数削減	週6日 ↓ 週5日	約230万円 (5820円+2740円×2×7時間) ×52日
運行時間縮小	8時間 ↓ 7時間	約170万円 2740円×2×312日
受付時間縮小	8時間 ↓ 7時間	約80万円 2500円×0.5時間×2人×312日
コールセンター廃止	8時間 ↓ 0時間	約860万円 2人×5時間×2,500円×312日 = 780万円×1.1 = 約860万円

B 【運賃に応じた区の負担割合（案）】

運賃	収入 ※ 3人/便を想定	支出	区負担額	収支率
2,180円	約2,450万円 2,180円×年間乗車人数 (約1.12万人)	約2,450万円	0万円	100%
1,090円	約1,220万円 1,090円×年間乗車人数 (約1.12万人)	約2,450万円	約1,230万円	50%
500円	約560万円 500円×年間乗車人数 (約1.12万人)	約2,450万円	約1,890万円	22.9%
400円	約450万円 400円×年間乗車人数 (約1.12万人)	約2,450万円	約2,000万円	18.3%
300円	約340万円 300円×年間乗車人数 (約1.12万人)	約2,450万円	約2,110万円	13.8%

**今後、他地域で展開しなければならない状況となった場合
すべての地区で毎年2,000万円を負担し続けることは課題**

実証実験に向けて

▶ 実証実験とは

- 期間を定めて試験的に運行してみます。
- 実証実験を通して**事業が継続できそうか**、運行・運用方法を**一部見直す**べきか、**取りやめ**にして別の方策を考えるべきかなどを検証します。

実証実験に向けて、皆様のお声をお聞かせください



実証実験に向けて

▶運行計画（案）について

運行形態

乗合運行・定時定路線（定期運行）

路線バスと同様に乗り合いです。利用客がいなくても運行します。



※実証実験で使用する車両ではございません。

運行方法

運行日	週6日（月曜日～土曜日）※日曜、祝日除く
運行時間帯・ダイヤ	9時～17時、1時間20分に1便程度 （大泉学園駅北口→長久保：6便、長久保→大泉学園駅北口：6便）
運行ルート・停留所	大泉学園駅北口～長久保、停留所：11カ所
運行車両	ワゴン車1台（定員9名）

運営・運用方法等

運行予定者	東都中央自動車株式会社
利用方法・ルール	座席の事前予約可
運賃	・大人400円、子ども（小学生）300円 ・以下の方は100円引 70歳以上、障害のある方および介護人 ・未就学児は無料

実証実験に向けて

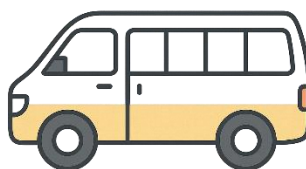
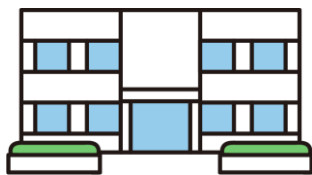
▶ 運行経路（案）

※関係者協議により変更となる可能性があります。



▶役割分担（案）

■ 事業の役割について、下表を想定しております。



区	運行事業者	地域
・運行計画の検討 ・関係機関（警察等）と協議 ・協賛金の募集	・予約の受付 ・車両の準備、運行 ・事故対応	・広報活動 ・協賛金等の費用負担 ・乗降場所の調整・清掃

▶検証の視点

①「継続的な乗車（３人以上/便）」

- ・乗車率が低い場合は、運行計画を見直す

②「地域の満足度」

- ・どれぐらいの人に利用されたか（延べ利用客数、実利用者数、複数回利用した人数等）
- ・アンケート等で別途調査を予定

③「地域の協力」

- ・広報活動、協賛金、乗降場所の調整・清掃 など



達成状況について検証し、事業の実施・継続を都度検討する

手続きの流れ

- 今後、諸手続きや準備を経て、運行計画を最終決定し、実証実験を開始します。



- 話合いの場（第1回～第4回）

- 地域公共交通に関するオープンハウス

運賃の意見募集：8月3日（月）～8月14日（金）

- 関係者（交通管理者、バス事業者等）との調整

本日

- 地域公共交通活性化協議会（運行計画）、運賃協議会（運賃）

- 道路運送法に基づく国への申請、広報・準備

実証実験開始

- 
- 地域の皆様と連携したPR活動
 - 運行・利用実績、アンケート等の調査

- 事後検証